LONG TERM GOOD RELATION
いちよし証券

2021年３月期第２四半期決算説明会

いちよし証券株式会社
執行役社長
玉田　弘文
2020年11月26日（木）

Ⅰ：決算・業績の状況

2021年３月期第２四半期決算（連結）

１．収支の状況

ICHIYOSHI SECURITIES

- ◆ 営業収益は、前年同期比6億6,900万円（7.1%）減少の87億7,000万円
- ◆ 経常損失は3億7,700万円
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純損失は3億4,200万円

（単位：百万円）

	2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
営業収益	9,439	8,770	▲7.1%	▲669
純営業収益	8,616	8,016	▲7.0%	▲599
販売費・一般管理費	9,000	8,397	▲6.7%	▲603
営業利益	▲384	▲380	-	3
経常利益	▲401	▲377	-	24
特別損益	2	103	-	100
法人税等	69	67	▲1.7%	▲1
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲479	▲342	-	136

（単位：百万円）

2020/3				2021/3	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
4,618	4,820	4,511	4,894	4,182	4,588
4,220	4,396	4,160	4,463	3,792	4,223
4,459	4,541	4,364	4,420	4,174	4,223
▲239	▲145	▲204	42	▲381	0
▲218	▲183	▲158	90	▲365	▲12
▲0	2	66	▲48	103	▲0
▲29	99	119	75	139	▲71
▲194	▲285	▲211	▲32	▲401	58

２．受入手数料の内訳

◆株券の委託手数料は、前年同期比2億1,500万円（9.0%）増加の26億1,300万円、投資信託の募集・売出し手数料は、前年同期比6億3,300万円（30.8%）減少の14億2,500万円、その他の受入手数料（信託報酬等）は、前年同期比3億1,000万円（9.2%）減少の30億6,000万円

◆引受け・売出し手数料は、主幹事2社を含む新規公開企業13社、既公開企業に係る公募・売出しは3社の幹事・引受けシンジケート団加入となり、前年同期比1億200万円（75.7%）増加の2億3,700万円

（単位：百万円）

	2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額	2020/3 1Q	2020/3 2Q	2020/3 3Q	2020/3 4Q	2021/3 1Q	2021/3 2Q
受入手数料	8,418	7,825	▲7.0%	▲592	4,124	4,293	4,074	4,352	3,689	4,136
委託手数料の主な内訳										
株券	2,398	2,613	9.0%	215	1,281	1,116	1,163	1,183	1,260	1,353
募集・売出し手数料の主な内訳										
投資信託	2,059	1,425	▲30.8%	▲633	921	1,137	874	943	654	771
引受け・売出し手数料の主な内訳										
新規公開	123	159	28.7%	35	7	116	22	349	4	155
既公開	11	78	587.3%	66	3	7	40	10	1	76
計	135	237	75.7%	102	11	123	62	359	5	231
その他の受入手数料の主な内訳										
信託報酬等	3,371	3,060	▲9.2%	▲310	1,679	1,692	1,749	1,611	1,467	1,593
信託報酬等以外	338	291	▲14.0%	▲47	168	170	157	164	129	161
計	3,710	3,352	▲9.7%	▲358	1,847	1,862	1,907	1,776	1,596	1,755

＜参考＞

（単位：億円）

投信募集額	1,108	949	▲14.3%	▲158

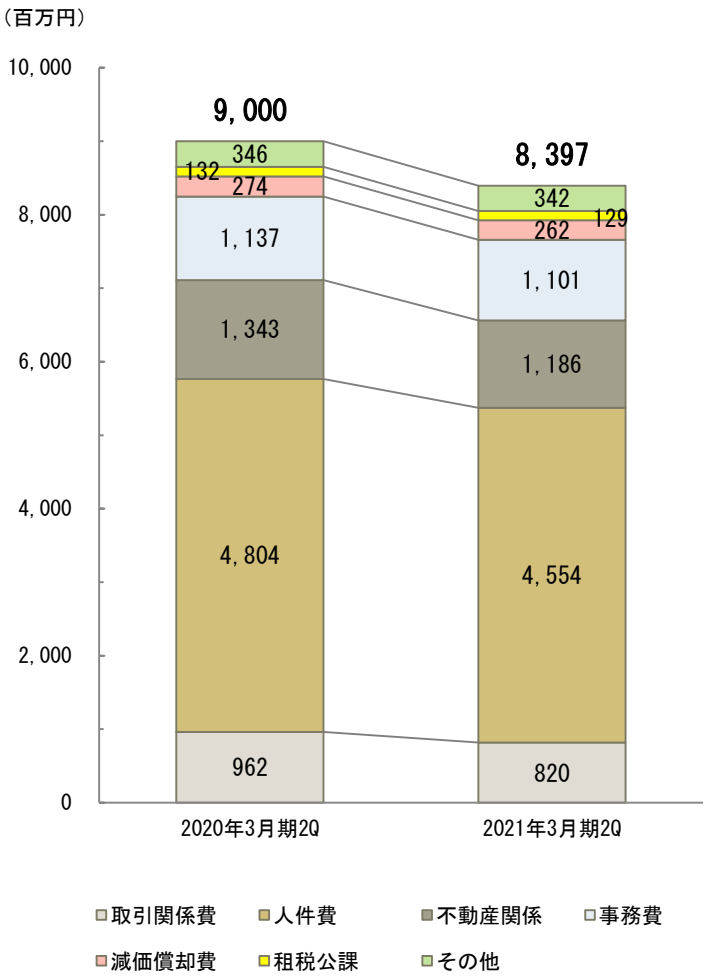
※ ラップ販売額を含む。

３．販売費・一般管理費の内訳

◆販売費・一般管理費は、人件費の減少等により前年同期比6億300万円（6.7%）減少の83億9,700万円

（単位：百万円）

	2020年3月期2Q	2021年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
取引関係費	962	820	▲14.8%	▲142
人件費	4,804	4,554	▲5.2%	▲249
不動産関係費	1,343	1,186	▲11.7%	▲156
事務費	1,137	1,101	▲3.2%	▲35
減価償却費	274	262	▲4.3%	▲11
租税公課	132	129	▲2.6%	▲3
その他	346	342	▲1.0%	▲3
合計	9,000	8,397	▲6.7%	▲603



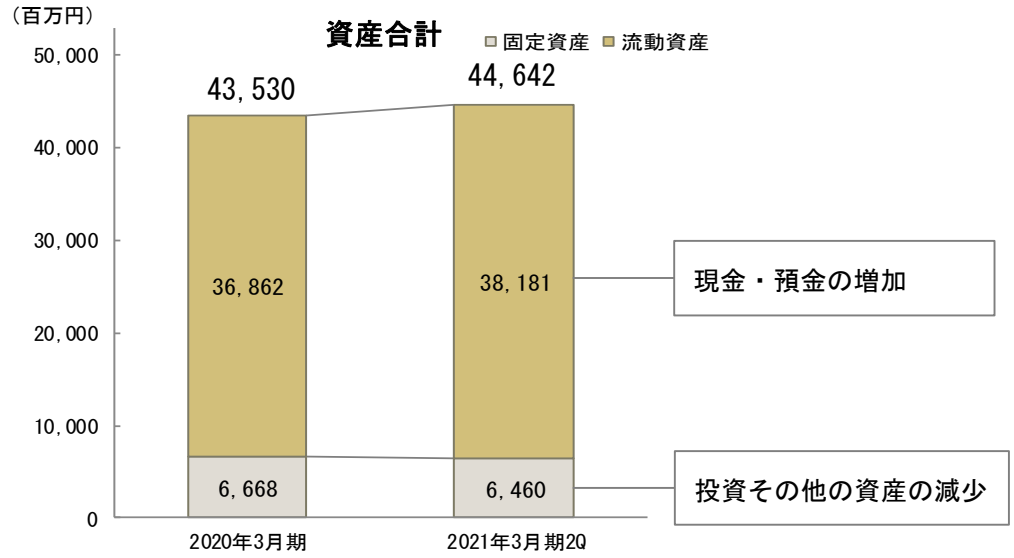
＜参考＞2021年3月期2Q（4～9月累計） 固定費・変動費（単体）

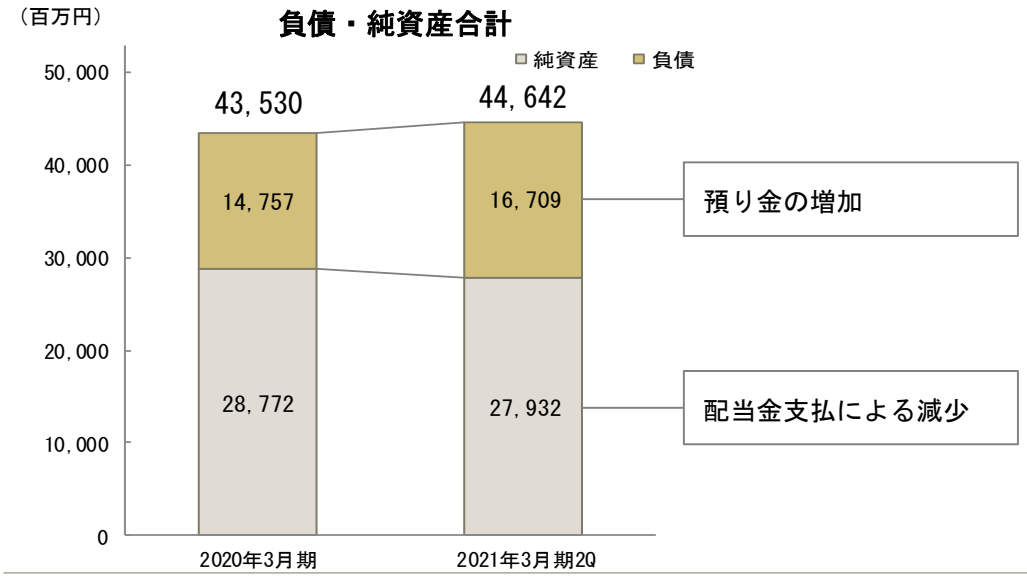
固定費	6,357
変動費	1,662

（単位：百万円）

4．貸借対照表及び財務の状況

貸借対照表



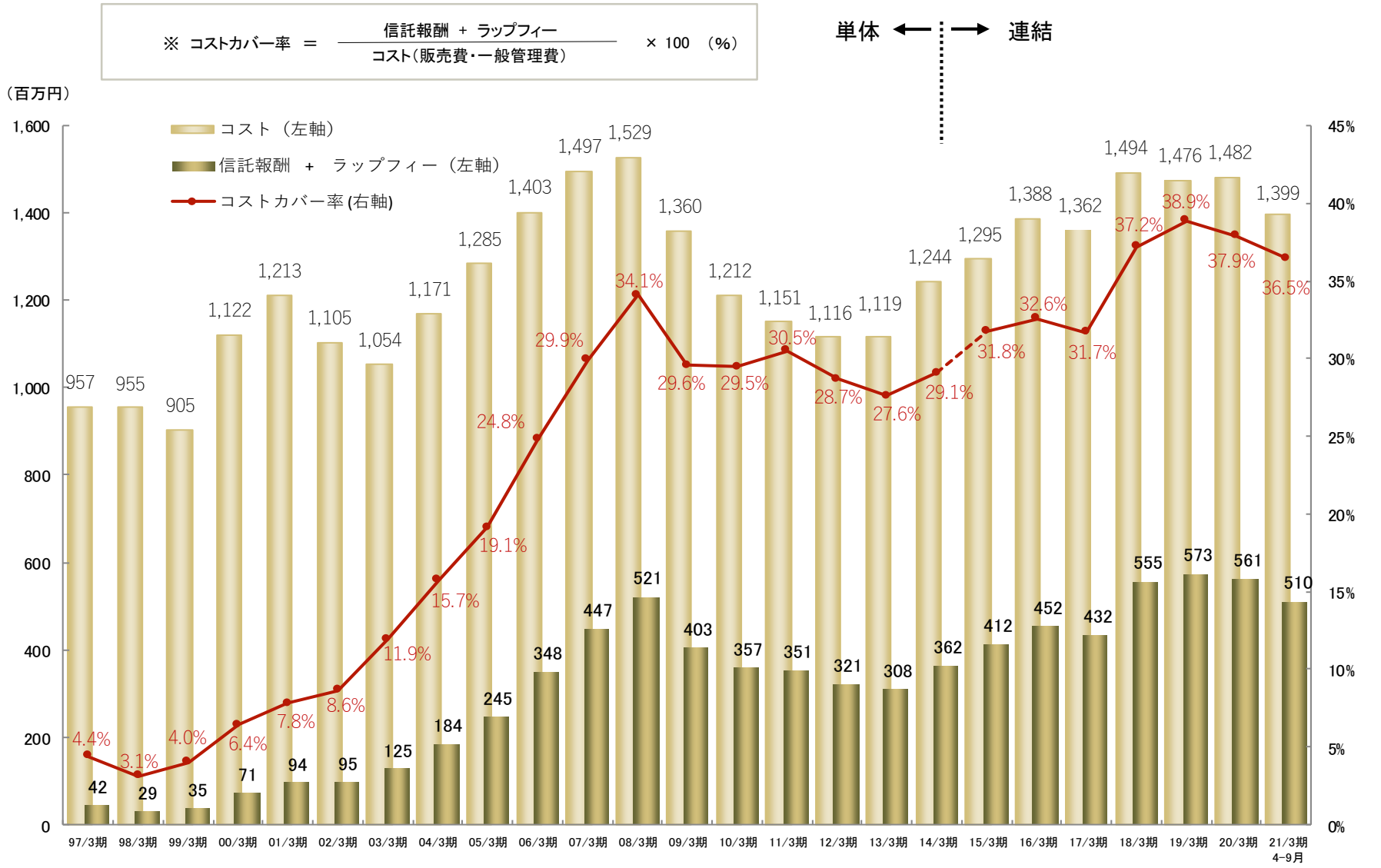


財務の状況

	2021年3月期2Q	前期末比増減
自己資本比率（%）	62.4	▲3.5
1株当たり純資産（円）	773.85	▲23.27
自己資本規制比率（単体）（%）	438.5	▲8.3

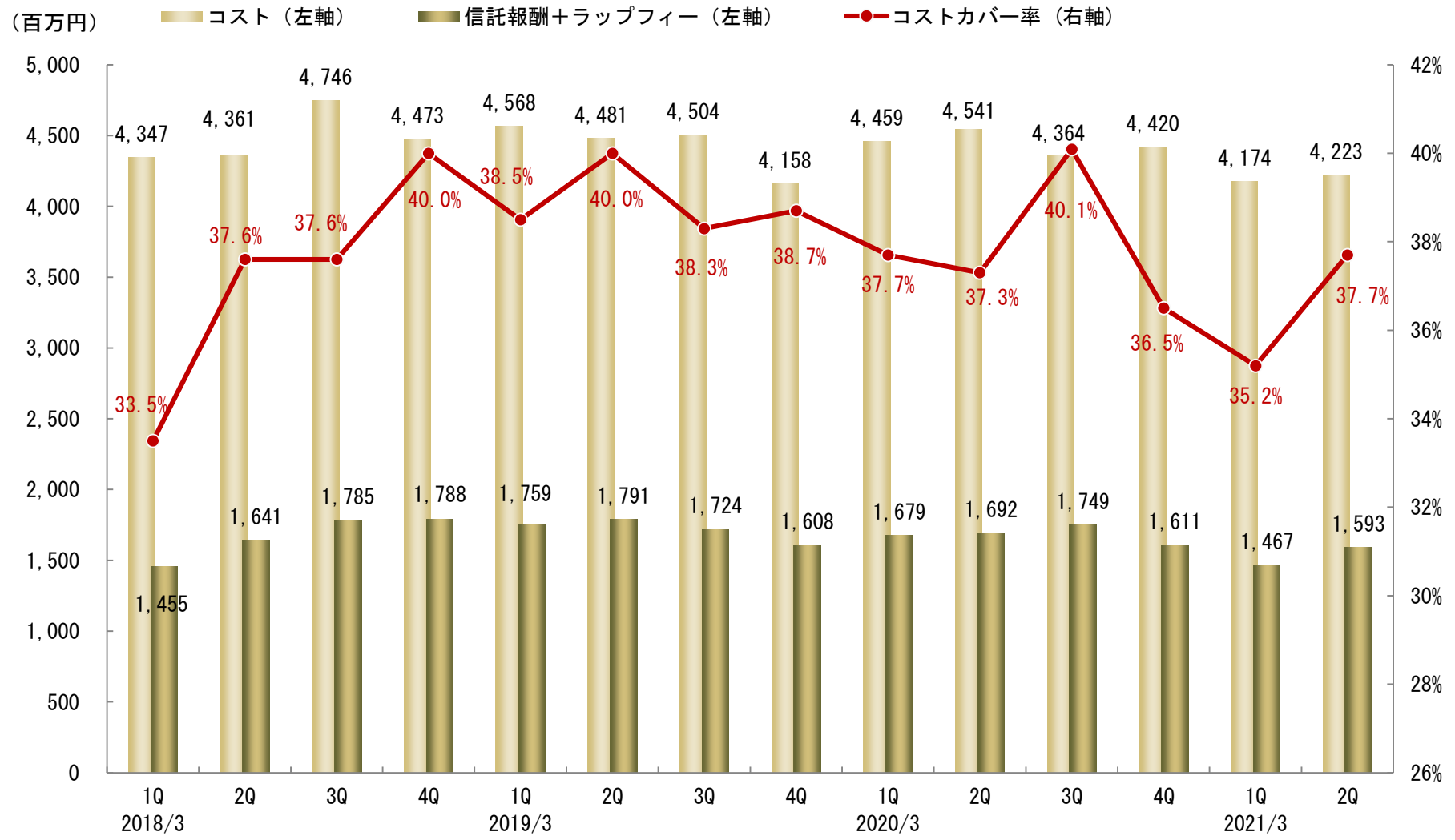
	2021年3月期2Q	前年同期比増減
1株当たり四半期純利益（円）	▲9.52	2.04

５．信託報酬と販管費カバー率の推移（月額平均）

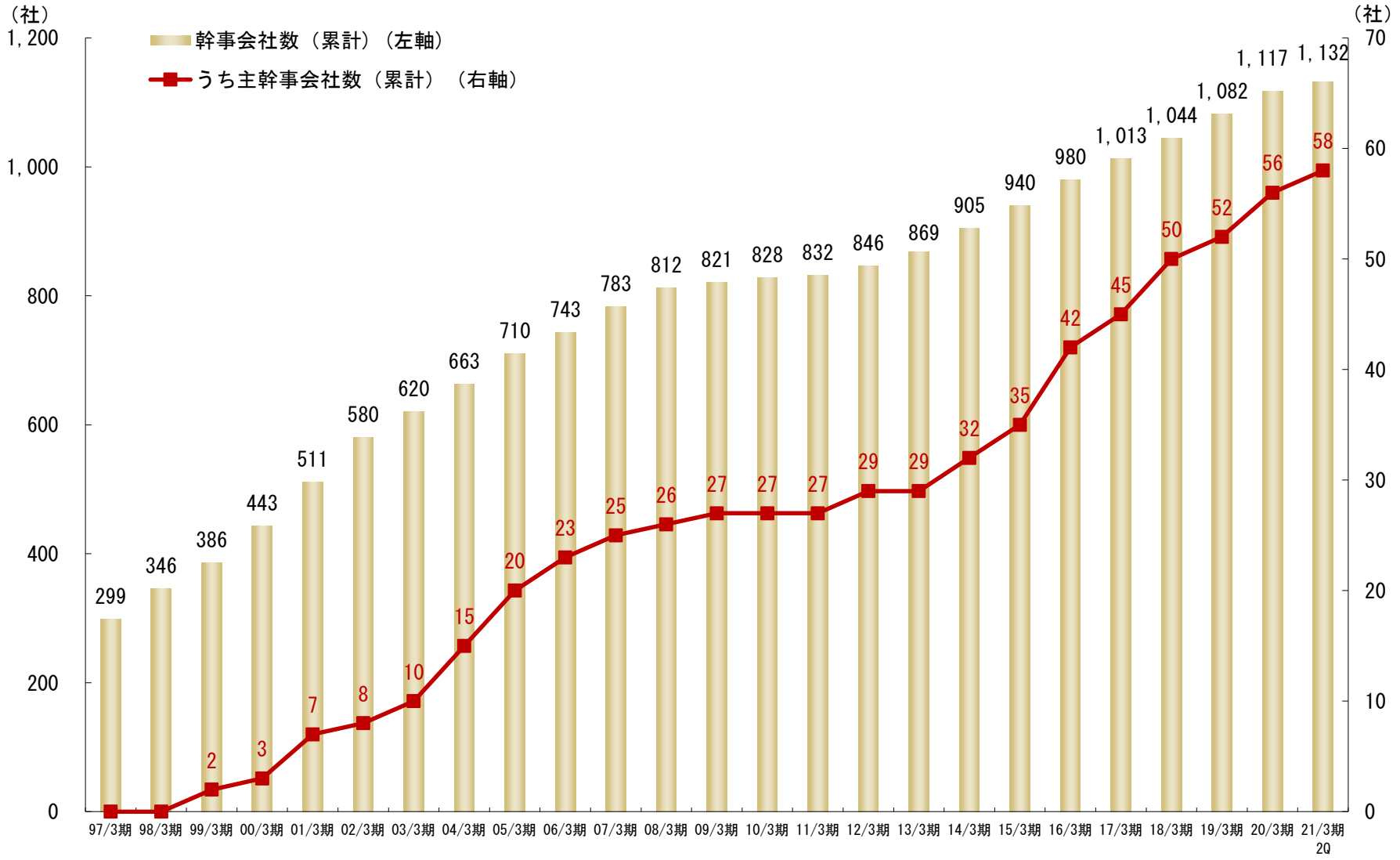


５．信託報酬と販管費カバー率の四半期推移

※　コストカバー率　＝　$\frac{\text{信託報酬　＋　ラップフィー}}{\text{コスト（販売費・一般管理費）}}$　× 100　（%）



６．幹事会社数の推移（累計）



ICHIYOSHI SECURITIES

中期経営計画『 アタック３ 』

「ストック型ビジネスモデル」の確立

	2020.3	2020.9	2023.3
預り資産	15,360	18,446	30,000
株式	7,382	9,344	14,200
投信	6,301	7,013	13,200
ドリコレ	1,075	1,324	2,000
債券（その他）	601	764	600
ROE	-%	-%	15%程度
主幹事会社数	56社	58社	80社
ｺｽﾄｶﾊﾞｰ率	36.5%（四半期ベース）	37.7%（四半期ベース）	60%

（単位：億円）

Ⅱ：今後の経営戦略

2000年から「改革の断行」に着手

- 2000年に個人のお客様向け商品に関する原理原則「7つのいちよし基準」を策定し、証券会社都合からお客様都合のビジネスモデルへの転換（フロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換）を図る
- 2006年3月、いちよしの「クレド」を制定
- 2009年に「売れる商品でも、売らない信念。」の店頭ポスターを作成、いちよしのアドバイス活動の基本理念を再確認

20年振りの「改革の断行」を宣言～「改革の断行」を成し遂げるために

- 2019年11月、より一層のお客様本位のアドバイス活動を実行するため①「地区アドバイザー本部制」を廃止、② 営業目標を本社本部が設定する方式から支店が独自に設定する方式に変更
- 2020年3月の部店長会議で新たに「お客様独自のオーダーを仕立てる信念。」を発表、お客様のためにならないことはやらない「7つのいちよし基準」を守り続けた上で、やるべきこと（お客様独自のオーダーを仕立てる信念）をやっていくというお客様本位の営業姿勢の改革を断行すると宣言

２．お客様本位の業務運営

お客様のためにやらないこと



お客様のために為すべきこと

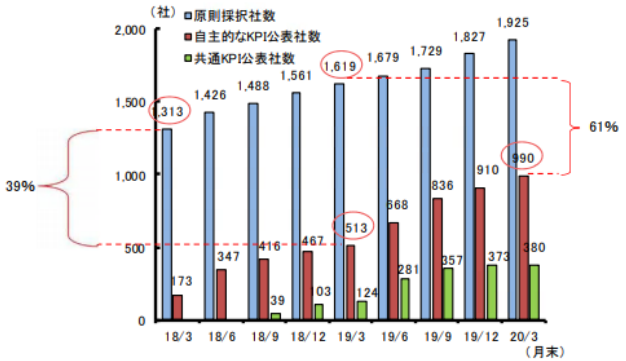


金融庁が2020年7月3日に公表した「投資信託等の販売会社による 顧客本位の業務運営のモニタリング結果について （概要版）」にて、当社の取組みが好事例として紹介されました。

２．金融事業者による顧客本位の業務運営の取組みの「見える化」

- 「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択する金融事業者は着実に増加。
- 令和元事務年度は、**取組成果の未公表先が多いなど、「原則」を採択すること自体が目的化していることが懸念される状況**に対し、**取組成果を公表している先のみを事業者リストに記載することとし**、その結果、**取組成果公表先の割合は、2019年３月時点 39% ⇒ 2020年３月時点 61%に改善**。
- しかしながら、「原則」を実現するための取組方針が、概念的な内容に留まっているなど、顧客に対して、**自社の取組みや取組成果を分かりやすく情報発信する動きは、いまだ限定的である**。

「原則」採択事業者数 及び 自主的なKPI・共通KPI公表事業者数



（注1）「自主的なKPI」設定社数は、取組方針やその実施状況においてKPIを公表している事業者を集計
（注2）「共通KPI」公表社数は、3指標の共通KPIのうち、1指標以上公表している事業者を集計
（注3）通常、「原則」採択から1年経過後には取組成果が出ると考えられるため、「原則」採択から1年経過後に取組成果を公表している事業者の割合を評価指標とする
（資料）金融庁

【取組方針を具体的に提示する好事例】

＜いちよし証券＞

複雑な商品や中長期の資産形成にそぐわない商品は、たとえ売れ筋商品であっても、取り扱わないとの方針を社内外に明確化、顧客本位の業務運営の販売員への浸透を企図。

【長期分散投資の有効性等を示す好事例】

＜地域銀行等＞

共通KPIの一つである運用損益別顧客比率を『長期投資を行っている顧客』『バランス型ファンドを保有している顧客』『積立投資を行っている顧客』別に算定し、当行の販売方針と紐づけた成果指標として公表。

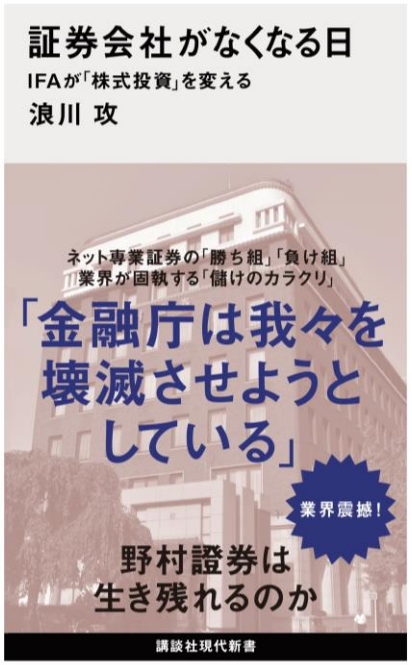
（出所）金融庁「投資信託等の販売会社による顧客本位の業務運営のモニタリング結果について（概要版）」から抜粋

講談社の本に
当社の取り組みが紹介されました。

講談社
現代新書

証券会社がなくなる日
IFAが「株式投資」を変える

浪川 攻 著



著者略歴

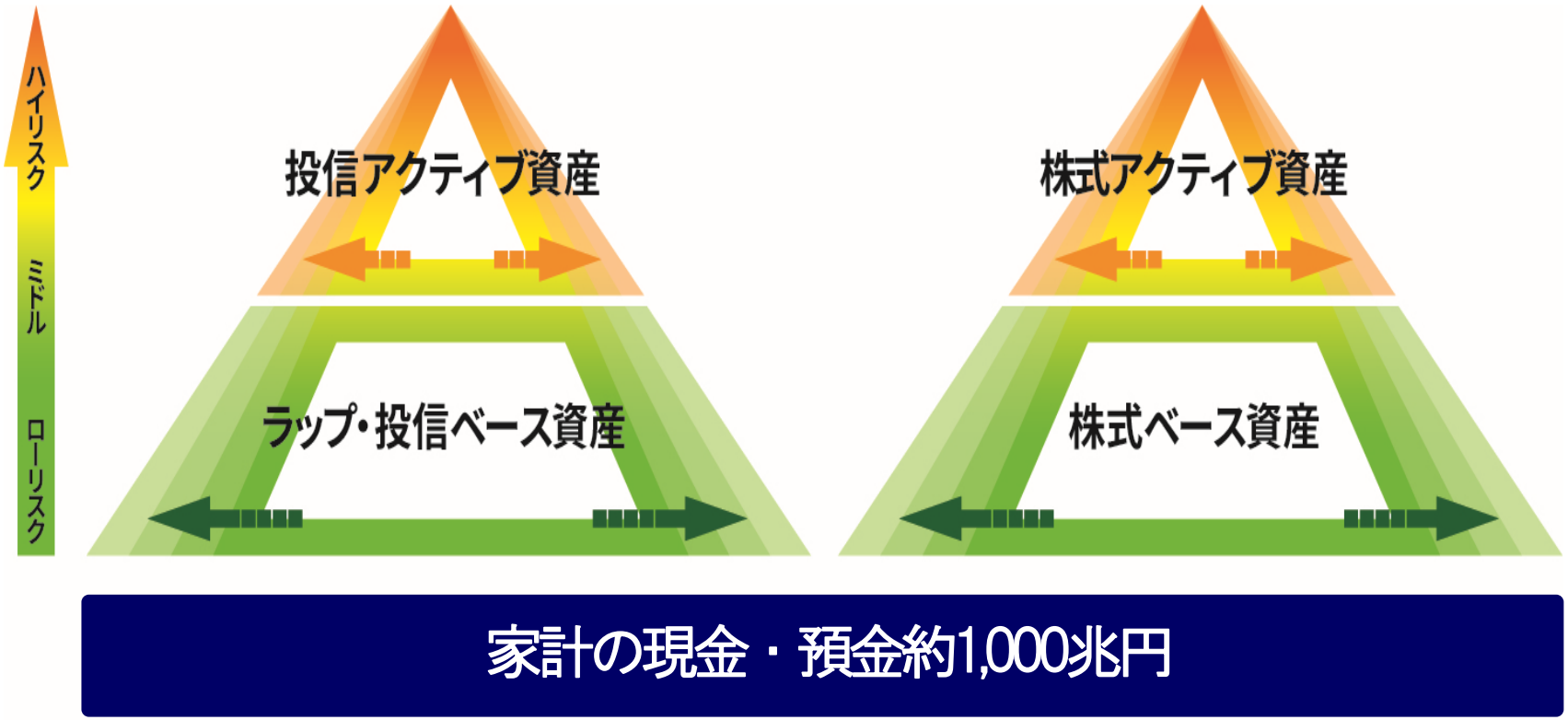
■ 浪川 攻（経済ジャーナリスト）1955年東京都生まれ。上智大学卒業後、電機メーカー勤務を経て記者となる。金融専門誌、証券業界紙を経験し、1987年株式会社きんざいに入社。「週刊金融財政事情」編集部でデスクを務める。1996年退社し、ペンネームで金融分野を中心に取材・執筆。月刊誌「Voice」の編集・記者、1998年に東洋経済新報社と記者契約を結び、2016年フリーとなって現在に至る。

売れる商品でも売らない「いちよし証券」

- 確実な資産形成に資する証券会社を目指す
- 大手に先んじて資本市場の透明性に寄与
- 社運を懸けた20年ぶりの大改革
- 大きな店舗を分解し「一人店舗」戦略で攻める
- 仕組債販売も回転売買も「絶対に認めない」
- いちよし本体とＩＦＡ法人の二枚看板で顧客本位を強化
- 「今回もやせ我慢する」

（出所）権利元から許諾を得ていちよし証券が作成

３．預り資産拡大に向けての「土台の拡大」



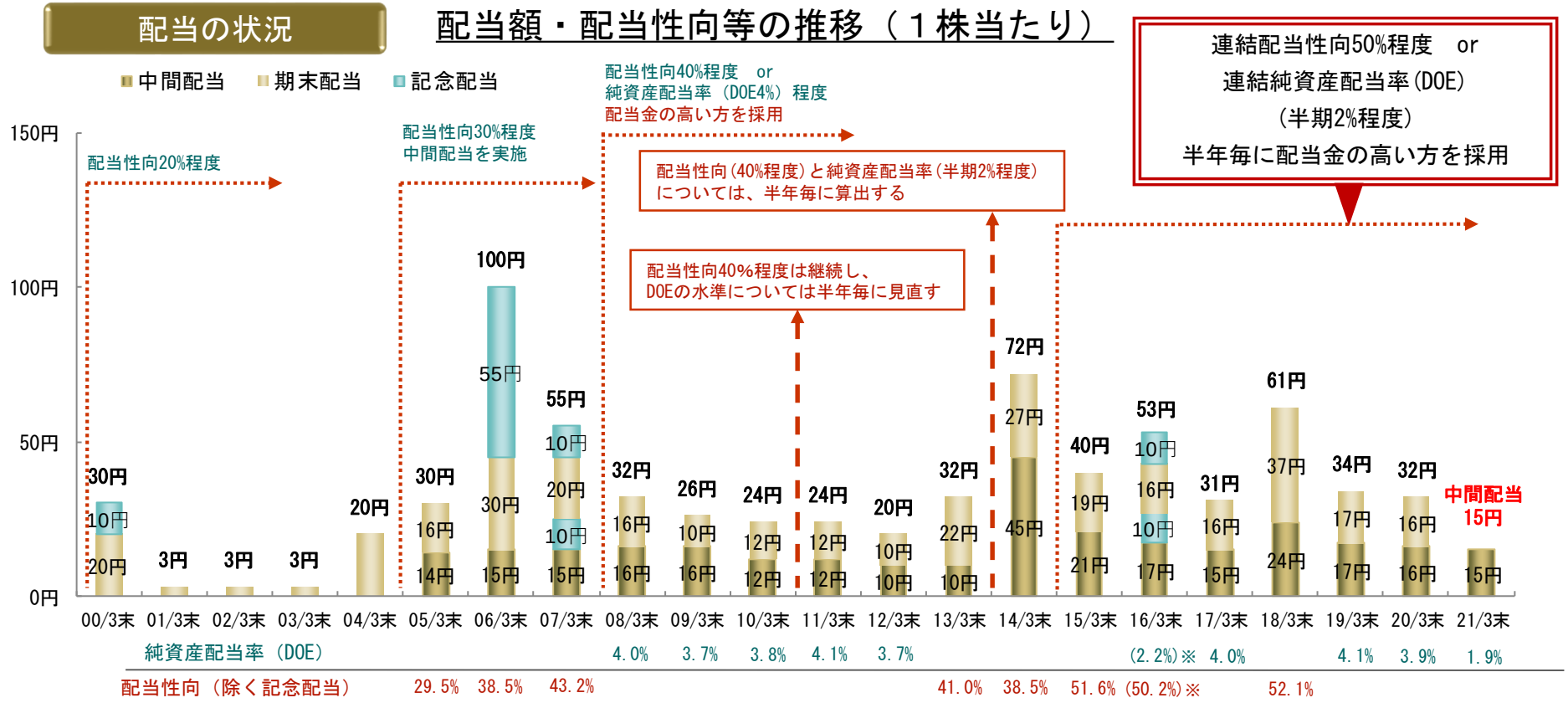
家計の現金・預金約1,000兆円

・国内個人金融資産のうち約1,000兆円の現金・預金をターゲットとして、安定運用を目指す「ベース資産」をプラットフォームに、積極的に運用益の拡大を図る「アクティブ資産」を組み合わせた分散投資のご提案を一層、強化して参ります。

（参考）配当の状況

配当の状況

配当額・配当性向等の推移（１株当たり）



自己株式の消却

	自社株式の取得／消却	平均買付単価	消却率
1998年9月～2004年1月	11,841,000　株	264.55　円	20.2%
2008年1月～2008年3月	1,699,200　株	1,032.31　円	3.5%
2008年11月～2009年1月	1,957,500　株	673.03　円	4.2%
2019年1月～2019年6月	2,000,000　株	870.53　円	4.5%

合計　17,497,700　株

※16/3末については、中間配当につき配当性向、
期末配当につきDOEを採用
各々につき半期ベースにて計算した数値を記載

（参考）
2019年3月末発行済株式総数　44,431,386株
（うち自己株式　2,635,963株）

2020年9月末発行済株式総数　42,431,386株
（うち自己株式　6,434,029株）

（参考）ＳＤＧｓへの取組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

校舎建設プロジェクト	いちよしマングローブの森プロジェクト	人道医療支援プロジェクト	いちよし盲導犬育成プロジェクト
 写真提供／公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン	 写真提供／国際環境NGO FoE Japan	 写真提供／認定NPO法人 世界の医療団	 写真提供／公益財団法人日本盲導犬協会
東アジアに８カ国 11校建設 （1996年～2020年3月現在）	**累計植林数 約375,000本** （2009年～2020年3月現在） ※「気候変動被害を受けるコミュニティ支援プロジェクト」2015年より同時進行中	**小児用予防接種ワクチン 約810,000人相当** （2009年～2020年3月現在）	**盲導犬 ７頭がデビュー** （2005年～2020年3月現在）
4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 16 平和と公正をすべての人に	1 貧困をなくそう 6 安全な水とトイレを世界中に 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう 14 海の豊かさを守ろう	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 16 平和と公正をすべての人に	3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう

◆いちよしSDGｓ中小型株ファンド

純資産残高：約133億円（11/20現在）

中小型成長企業の調査に特化した いちよし経済研究所のリサーチ力を活用し、我が国の金融商品取引所に上場されているSDGｓ達成に関連した事業を展開する中小型株式の中から、ボトムアップ・リサーチを通じて、成長性が高く、株価水準が割安であると判断される銘柄に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指した積極的な運用を行うファンド

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝　誠実　勇気　迅速　継続

Long Term Good Relation

社員のために
社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神
情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい
チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

お客様のために
一人、一人の『いちばん』でありたい

お客様第一
常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスを行います。

良質なサービス
社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

株主のために
持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元
事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示
経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

社会のために
金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

社会的責任
法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献
企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

一人、一人の、『いちばん』でありたい。



問い合わせ先　　いちよし証券株式会社　広報室

TEL：03-4346-4512　FAX：03-4346-4513

https://www.ichiyoshi.co.jp

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2020年9月30日現在のデータに基づき作成しております（百万円未満切捨て表示）。

商号等　：いちよし証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会